

陽成の風

大雨に注意したい

校長 徳田 高美



一年間の降水量の約半分が降ってしまう所もあるほど、今年も大雨の状況となっています。以前の、梅雨時の「しとしと」と降っていた雨とはずいぶん様相が変わってきているような気がします。



学校の体育倉庫裏手の山も一部崩れてしまいました(16日)、土砂の重さで倉庫の壁も一部破損。「ゲリラ豪雨」と呼ばれる集中的な雨の怖さが実感されます。

しかし、市や教育委員会の早い対応により倒れた竹や樹木の伐採、そして土砂の撤去作業が始まりました。時折強い雨の中ですが、ありがたいことだと感謝する次第です。

先般は、陽成地区の「地域防災連絡調整会議」も開かれました。校区内の各種団体の代表者が集まって地域防災について説明と協議がなされました。避難所にも指定されている学校としても心構えをしておく必要があります(コミュニティセンターと合わせて2箇所)。

学校では降った雨の排水状況や、山手の崖からの出水の様子等気になるところです。湿度が高いということについても、カビの発生や食中毒の予防、体調管理の必要性など気をつけるべきことが増えてきている現状です。

1学期も残りが約1ヶ月となり、子どもたちが安全で元気に夏を迎えられるよう、この大雨の状態が早く収束してくれたらと考えているところです。各家庭や地域の皆様におかれてましても、自宅や周辺での被害・災害等が起こることのないようにと願うばかりです。

市教育委員会が学校訪問にきました



14日(火)、本市教育委員会の教育委員長をはじめ各委員、教育長、事務局職員等13名の方々が、本校にいられました。学校経営はもちろん、学校環境、授業の様子等参観されました。だいたい3年に1回の割合で計画されるものですが、緊張した時間でした。

幼・小連携の日曜参観

6月第1日曜日の5日、恒例となっている日曜参観を幼稚園・小学校とも実施いたしました。同日開催は、両方に子を持つ親のことを考えると、同日実施は併設している学校・園であればこそだと思います。



小学校では、親子で一緒に登校しながら通学路の安全点検をし、朝のスタートは親子読書でした。親子で一つの本を読む家庭もあれば、それぞれに読みたい本を読む家庭とありましたが、普段やっている家庭は少ないようで、ほのぼのとした雰囲気の中でできたようです。「家読(うちどく)」が定着できるようになるとさらにいいなあと思う時間でした。

1校時から3校時までは、自分の子はもちろんのこと他の子たちの授業も参観してもらいました。先生方も自分の授業を保護者に見られている緊張感があり、大切な子供たちを預かっているという気持ちを再確認できたようです。学級によっては、親子で活動する時間を設定して、親子のふれあいの時間を過ごしていました。



4校時には、家庭教育学級の開講式を行い、今年度の計画が大筋決まりました。中でも、日頃お父さん方が、子育て業をお母さん方に任せきりにしている傾向があるという反省から、「父親セミナー」を実施することになりました。画期的なことだと思います。今週末の25日(土)に行いますが、何%の出席率になるのかお父さん方の意識改革になればと思います。



親子での昼食をはさんで午後からは、日本赤十字社より講師をお願いし、普通救命講習をしました。幼稚園の保護者の参加もありました。お父さん方も家庭教育学級の成果でしょうか、多数参加してください、夏休みのプール開放時の救急救命の大切さを学ぶとともに、実技講習を通してもしもの時の初期対応について、汗をかきながら学習しました。

幼稚園では、親子での体操や新聞紙じゃんけん遊ぶなどレクリエーションをして楽しみました。暑い中ではありましたが体ごとべったりとくっつき、目一杯甘える子供たちの姿を見ていると、お父さんやお母さんが大好きなんだなというのが、すぐに伝わってきました。帰ってからも、きっと一緒に遊んでもらったことでしょう。

幼稚園では、親子での体操や新聞紙じゃんけん遊ぶなどレクリエーションをして楽しみました。暑い中ではありましたが体ごとべったりとくっつき、目一杯甘える子供たちの姿を見ていると、お父さんやお母さんが大好きなんだなというのが、すぐに伝わってきました。帰ってからも、きっと一緒に遊んでもらったことでしょう。



高学年による読み聞かせ交流

16日(木)1時間目が始まる前の時間に、高学年生による読み聞かせを行いました。高学年生にとっては、そのプライドを持って、低学年生に丁寧に「読む」こと、「聞かせる」ことを意識しての時間となりました。小グループが8つできましたがそれぞれにあっていう間の本の世界をつくってました。読む側聞く側それぞれに効果があったようです。



「ハンセン病問題を正しく理解する週間」

国の隔離政策によりハンセン病患者であった方々が受けた被害回復は、一定の解決も図られましたが、未解決の問題も残っています。とりわけその患者であった方々が、地域社会で孤立することなく良好かつ平穏な生活を営むことのできるような基盤整備はもとより、偏見と差別のない社会実現に向けて真摯に取り組んでいかなければなりません。本県では、6月19日から25日までを「ハンセン病問題を正しく理解する週間」に位置付け、現在も存在するこの問題を解決できるよう様々な取り組みを行っております。過ちは二度と繰り返してはいけません。そのためにも、この問題を正しく理解することが問題解決への第1歩となります。そうすることが、全ての人権問題を考える上での鍵となり、差別や偏見のない社会づくりにつながっていくのです。



一学期もあと一月

1学期も残すところあと1ヶ月となってきました。1学期のまとめの時期に入ります。1学期に習ったことの復習を十分し、反省しておきたいものです。さて、例年にない長雨で水泳指導が始まっているのですが、気温が上がらないため、あまり水泳ができていない状況にあります。しかしながら、校内水泳大会を来月6日に計画しております。どこまで泳げるようになるかわかりませんが、保護者の皆さん、地域の方も是非、子供たちの様子を見に来てください。

7月の行事予定

1	金	貯金日 委員会種功
4	月	安全点検 職員会議
5	火	命を大切にする心を育む日 教育相談 合唱練習(5・6年) 14:15出発
6	水	校内水泳大会 給食式食会 学級PTA 学校保健員会
7	木	平成中校区あはつデー 合唱リハーサル(5・6年) 13:15出発
8	金	ALT来校 幼稚園交通教室 平成フェスタ(5・6年) 12:55出発
10	日	第1回リサイクル事業
12	火	移動図書 GT来校
13	水	交遊給食 薩摩川内元気塾
14	木	幼稚園PTA(親子登園)
15	金	着衣水泳 クラブ種功
18	月	海の日
20	水	第1学期終業式 大掃除 職員会議 相互点検
21	木	夏休み(8/31まで) プール開放(8/5まで) 第2回幼稚園教諭等研修会(高城中央幼稚発表)
22	金	市小学校水泳記録会 夏のアドベンチャー「薩摩川内まつけもんの旅」(～25日)
31	日	青少年ふるさと美化種功